



# 竜美ヶ丘小児科新聞



No.20(平成29年第2号)

## “夏に多い子どもの病気”

★発熱や咳・鼻水で受診すると「咽が少し赤いね。9割は”かぜ“だから自然に治るから薬はいらないよ。」と。”かぜ“は、上気道粘膜の急性炎症の総称で、原因の多くはウイルスによる感染である。ウイルスには抗生剤は効果なく、他の病気の鑑別が重要ですが、多くは経過良好で、数日から1週間で自然に改善します。

★その夏かぜの代表が、“手足口病”“ヘルパンギーナ”“咽頭結膜熱（プール熱）”です。これらの原因もウイルスなので、抗生物質は効果なく特効薬はありませんが、多くは合併症もなく自然に治る経過（予後）良好の病気です。

★手足口病は、テレビや新聞が報道のように今年は昨年に比べて多いですが、特別なことはありません。原因は、エンテロウイルスで、タイプがいくつかあるので1回かかってもまたかかることがあります。タイプによって、水疱がひどかったり、爪が剥がれてくるなど症状の強いことがあります。エンテロウイルス71型は、髄膜炎や脳炎などの重篤な合併症を起こすことがあるので、繰り返す嘔吐や頭痛、発熱が続くときは医療機関を受診してください。また、症状が何もないのに感染していたり、便からのウイルスは数週続くこともあり隔離の意味はないため、平熱で食欲のある元気な手足口病は登園・登校は可能で生活の制限も必要ありません。

★咽頭結膜熱は、プール熱ともいいますが、管理されているプールの水からは感染することはありません。熱が4～5日続くこともありますが、多くは経過良好です。ただ、咳がひどい、下痢がひどいときは医療機関を受診してください。原因はアデノウイルスで、診察（目やにを伴う充血と扁桃炎）と迅速検査で診断します。アデノウイルスも沢山のタイプがあり、重篤になりやすいタイプがあります。特効薬はなく、登園登校には登園許可証が必要です。

### 子どもの健康

#### 一水いぼ（伝染性軟属腫）一

光沢のある小さな水疱様皮疹で、日本人の9割が一度はかかるともいわれています。原因はウイルスですが、水ぼうそうのようにそばにいるだけではうつりませんので、登園登校、水泳（プール）も大丈夫です。水疱自体はかゆみ等なく無症状ですが、かゆみを伴う湿疹などで引っ掻いた時に水いぼを一緒に潰すと他の部位にうつります。このため、ビート板やタオルなどは共有しないようにしてください。

治療は、焼く、つぶす、漢方薬などが経験的に効果あると言われていますが、実際の効果ははっきりしないのと平均1～2年で自然に治るため、通常はそのまま放置します。

### 記事に出た病気の写真



ヘルパンギーナ



水いぼ



手足口病



咽頭結膜熱